

第2学年 社会科学習指導案（地理的分野）

1 単元名 「資源とエネルギー」

2 単元について

日本は「資源の博物館」と呼ばれるほど資源の種類は豊富である。しかし、エネルギー資源には乏しく、外国からの輸入に依存しているのが現状である。生活に深く結び付いている重要な資源である原油、天然ガス、石炭、鉄鉱石などは永久に存在するものではなく、採掘可能年数があり、枯渇の危険性がある。また、これらの燃料を燃焼させることによる二酸化炭素の排出量増加が、その一因とされる地球温暖化も大きな問題である。そこで、ガソリンなどに代わる新しいエネルギー資源の一つとして、バイオエタノールが注目されている。今回は、単元「資源とエネルギー」の発展学習の課題として「バイオエタノールは必要か？」ということについて考えさせ、多面的・多角的な視点からとらえさせた上で、必要かどうかについて判断させたい。バイオエタノールは、ガソリンを補完する自動車の燃料として、注目を集め始めている。バイオエタノールは、石油などの化石燃料と違って、大気中の二酸化炭素を増加させず、地球温暖化問題の解決に貢献すると考えられている。また、石油などは掘り尽くして枯渇する心配があるが、バイオエタノールは毎年植物を新たに育てればよいのでその心配がない。通常はこれをガソリンと混ぜて燃料として使うなど、ブラジルやアメリカを中心に製造や利用が進んでいる。

本学級は、男女ともに落ち着いて授業に取り組むことができている。ただ、一問一答のような形式の質問では意欲的な発表が見られるが、思考・判断を要するような質問では、発表をする生徒が少ない。本単元では、「資源とエネルギー」の学習の中で「バイオエタノールは必要か？」というテーマを基に、資料を読み取らせたい。そして、意見交換する中で、自分の考えをまとめ、資料を基にした判断ができるように進めていきたい。また、現在、新エネルギーの開発が叫ばれている現状を踏まえて、「バイオエタノール」について考えさせたい。

指導に当たっては、まず個人の考えを基にして、各グループでの話し合い活動を中心に学習を進めていく。自分の考えを発表する場面や、グループとしての考えをまとめたり、発表したりするなどの場面を設定し、「バイオエタノール」について考えさせ、多面的・多角的に思考を広げていきたい。さらに、思考の深まりによる判断の変化も把握させながら学習を進めようと考えている。また、「必要」「不必要」のいずれかの立場に立ち、理由や根拠を明らかにして主張する活動を通して、論理的に考える態度を養いたい。そして、「バイオエタノールは必要か」という問題にどのように向き合い、どうしたら国民全体の幸せや個人の幸せにつながるのかまで考えを広げさせ、最終的な自分自身の判断を、どのような価値に基づいて行ったのかを自覚させたい。

3 単元の総括目標

世界的視野から資源の分布と消費の現状に関心をもち、資料からエネルギー消費の現状を読み取り、新エネルギーや環境問題に結び付けて考えることができるようにする。その上で、バイオエタノールの必要性について、資料を基に判断し、自分の言葉で表現することができるようにする。

4 単元の評価規準

社会的な事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的な事象についての 知識・理解
資源の分布やエネルギーの消費について関心をもち、新エネルギーや環境問題などの現状を意欲的に考えようとする。	資源やエネルギーのあり方や環境問題について多角的・多面的に考察し、根拠を基に自分の考えをまとめることができる。	資料を分析し、それを基に分かりやすくまとめ、説明することができる。	資源の分布と消費の現状から、新エネルギーや環境問題について、メリット・デメリットを含めて理解することができる。

5 単元の指導計画（全4時間）

学 習 活 動	教師の指導・支援	評 価	時 配
1 世界と日本のエネルギー <ul style="list-style-type: none"> 資源の分布の現状を知る。 鉱産資源は、採掘可能年数があり、枯渇の危険性があるということを知る。 	教科書等の資料を提示して考えさせ、補足説明をする。	<ul style="list-style-type: none"> 世界と日本のエネルギー事情に関心をもって、学習に取り組んでいる。 資源の分布や採掘可能年数などについて資料を読み取って理解をすることができる。 	1
2 世界と日本のエネルギー <ul style="list-style-type: none"> 世界と日本のエネルギー消費の現状を知る。 新エネルギーの開発について知る。 	教科書等の資料からエネルギー消費の現状を読み取らせ、補足説明する。 新エネルギーや環境問題について考えさせ、補足説明する。	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー問題や新エネルギーの開発事情に関心をもって学習に取り組んでいる。 世界や日本のエネルギー消費の現状を資料から読み取ることができる。 	1
3 「バイオエタノールは必要か？」 <ul style="list-style-type: none"> バイオエタノールについて知る。 バイオエタノールは必要か、不必要か仮説を立てる。 資料を読み取り、分析したことをワークシートに記入する。 グループで、意見交換して知識の共有を行い、分かったことをワークシートに補足する。 教師の話聞き、分かったことをワークシートに補足する。 	<p>バイオエタノールの説明をする。</p> <p>仮説を踏まえながら、資料の読み取りをすることを指示する。</p> <p>提示した資料を補足説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> バイオエタノールについて関心をもって、授業に取り組んでいる。 バイオエタノールのメリットとデメリットを資料から読み取ることができる。 グループ活動を通して、知識を共有し、自分が立てた仮説を吟味することができる。 	1
4 「バイオエタノールは必要か？」 <ul style="list-style-type: none"> グループで意見交換を行い、グループの主張とその理由をまとめる。 グループの意見を代表者が発表する。 「バイオエタノール」を必要とする立場、不必要とする立場は、それぞれどのような社会を目指しているのかを考え、考えを明確にする。 実現すべきはどちらの社会なのかを判断して、最終的な自分の考えをまとめる。 	<p>話し合いの中で、検討した内容を生かして発表させる。</p> <p>新しいものや政策などを提案する時には、必ず「必要」か「不必要」かという考えがあり、そのそれぞれに価値(考え)が含まれていることを説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループ活動を協力して行い、自分の考えを発表できる。 「必要」「不必要」の理由を明確に発表することができる。 「目指している社会」についての自分なりの考えをもち、それを表現できる。 それぞれの価値を踏まえて判断することができる。 	1 本時

6 本時の目標

意見交換を通して、価値を意識しながら自分の主張をまとめ、よりよい社会をめざして判断することができる。

【社会的な思考・判断】

7 本時の展開 (4 / 4)

	学 習 活 動	教 師 の 指 導 ・ 支 援
導 入	1 前時の内容を確認する	前時を振り返り、各立場から決定したことをグループで意見交換できるように準備する。
展 開	2 グループで互いの意見を交換し、「必要」が「不必要」ということとその理由について、発表用ワークシートに記入する。 3 「必要」「不必要」のいずれかの意見に理由を付けて、代表者が発表する。 4 「必要」「不必要」の意見を基に、考えを整理する。 (1) 「必要」という意見と「不必要」という意見とその理由を聞く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「必要」と考える理由として予想される考え <ul style="list-style-type: none"> ・ 二酸化炭素を増やさないのが、地球温暖化対策になる。 ・ 資源の枯渇対策になる。(節約できる) ・ ゴミを利用できる。 </div> (2) メリット・デメリットを整理する。 5 自分が優先する価値(考え)を選択する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの価値(考え)とそれが影響を及ぼす範囲などを踏まえて「必要」「不必要」を選択し、ワークシートにまとめる。 6 自分の考えを発表する。	前時までにまとめた自分の意見を出させ、話し合いの中で、グループの意見を統一させる。 話し合って検討した内容を生かして発表させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「不必要」と考える理由として予想される考え <ul style="list-style-type: none"> ・ 穀物が値上がりして生活が苦しくなる。 ・ 森林伐採や環境汚染の問題が出てくる。 ・ 世界の食糧問題が出てくる。 </div> メリット・デメリットを黒板にまとめ、影響する範囲や価値について補足する。 机間支援を行い、ワークシートの記入ができていない生徒については、前時の資料などを見直してみるように助言をする。 <div style="text-align: right;">【評 価】</div> 必要と思われる意見やその根拠については、記録用紙に記入するよう指示する。
ま と め	7 本時のまとめを聞く。	新しいことなどを提案するときには、必ず「必要」か「不必要」かの意見があり、そのそれぞれに価値(考え)が含まれていることを説明する。

8 本時の評価

評価規準	資料に基づいて、必要・不必要のそれぞれの意見に含まれる価値を意識し、判断することができる。		
評価基準	A	B	C
支援	必要・不必要の両方の意見を多面的・多角的に考察し、資料を基に、よりよい社会を目指す判断ができる。 よりよい社会を実現するために大切なことを再度確認する。	資料を基に、よりよい社会を目指す判断ができる。 必要・不必要の両方の意見をとらえさせて判断をさせる。	よりよい社会を目指す判断ができる。 判断を再確認させ、周りの意見を参考にさせる。
評価方法	ワークシート		